

○議長 玉城 勇君 これから本日の会議を開きます。本日の議事日程は、あらかじめお手元に配付したとおりであります。

開議（午前10時00分）

日程第1．会議録署名議員の指名

○議長 玉城 勇君 日程第1．会議録署名議員の指名を行います。本日の会議録署名議員は、会議規則第127条の規定によって2番 新垣善之議員、3番 岡崎晋議員を指名します。

日程第2．一般質問

○議長 玉城 勇君 日程第2．一般質問を行います。それでは、通告書のとおり順次発言を許します。4番 石垣大志議員。

〔石垣大志議員 登壇〕

○4番 石垣大志君 皆さんおはようございます。最終日、トップバッターの石垣大志でございます。早速、一般質問をさせていただきます。議長、一問一答でよろしく願いいたします。大きい1番、情報政策について。（1）令和3年第1回定例会一般質問で、ホームページリニューアルについて質問を行いました。その後の検討状況を伺います。（2）都市OSについての見解を伺います。（3）マイナンバーカードの普及に関し、現在の普及率、また現在の課題について伺いたい。以上、答弁よろしく願います。

○議長 玉城 勇君 副町長。

○副町長 国吉真章君 皆様おはようございます。では、質問事項1点目の情報政策について。（1）についてお答えいたします。ホームページリニューアルについてご提案があり、操作性、視認性、費用面等を中心として検討を行いました。リニューアルには高額な費用が発生することから、さらなる調査検討が必要となっております。現在のホームページの操作、見やすさの改善に努めつつ、今後も調査検討を継続してまいります。

（2）についてお答えします。都市OSの導入については、町のデジタル化の推進を行うとともに、国や県、近隣市町村の動向も踏まえ、調査・検討をしております。

（3）についてお答えします。令和4年2月末時点

のマイナンバーカードの普及率は31.44%であります。課題としては、マイナンバーカードの安全性、利便性について、町民の皆様に理解していただくための周知等が挙げられます。以上であります。

○議長 玉城 勇君 4番 石垣大志議員。

○4番 石垣大志君 ありがとうございます。それでは再質問に移らせていただきますけれども、この質問事項1点目の情報政策に関してでございますけれども、（1）から（3）まで、全体的にこのデジタル化に関して、今後どういうふうに南風原町が取り組んでいくのかということを踏まえて質問させていただきたいと思います。このホームページに関してでございますけれども、答弁の中でも高額な費用が発生すると。費用面についてリニューアルするに当たって費用はどれぐらいかかるのか教えていただけたらと思います。

○議長 玉城 勇君 総務課長。

○総務課長 新垣圭一君 お答えいたします。現在、見積りいただいた金額では1,570万円程度ということで見積りを取っております。以上です。

○議長 玉城 勇君 4番 石垣大志議員。

○4番 石垣大志君 ありがとうございます。このホームページに関しては、この費用の面に関してですけれども、時代に応じて金額が変わっていているのかですね、この辺ちょっと私個人的な素朴な疑問でございまして、過去のホームページを作ったときと比べてどんどん安くなっていているのかですね、この辺はお伺いいただければと思います。

○議長 玉城 勇君 総務課長。

○総務課長 新垣圭一君 お答えいたします。ホームページに関しましても仕様書、種類によって金額が異なりまして、以前導入したものよりも今回見積り取っているものに関してはグレードがちょっと上がっている状況のものとなっております。

○議長 玉城 勇君 4番 石垣大志議員。

○4番 石垣大志君 分かりました。ありがとうございます。あと課題について、ホームページの現状の課題の認識について伺いたいんですけども、今、南風原町のホームページを開きますと、このURLの左側の部分にですね、安全ではありませんというような表記がされます。これはまた、例えば調整提案箱だったりとかに行くと安全ではないというような表示はなくなるわけでありまして。この常時SSL化というお話を伺いまして、こういうふうにトップページ画面が安全ではないというような表示をされることについてですね、南風原町として課題を認識しているのかお伺いきたらと思います。

○議長 玉城 勇君 総務課長。

○総務課長 新垣圭一君 お答えいたします。議員おっしゃるとおり、課題として捉えております。こちらのほうに関しまして、先ほど見積り提示をしましたが、そのSSL化の認証ですね、それも含めた金額となっており、今後のリニューアルの際にこちらのほうの導入も考えていきたいと。

○議長 玉城 勇君 4番 石垣大志議員。

○4番 石垣大志君 ありがとうございます。じゃあ、ホームページをリニューアルすることでこの課題も解消できるという認識でいいか、そうですね。大丈夫ですか。ありがとうございます。

では次に(2)に移りたいと思います。都市OSについてでございますけれども、すみません、ちょっと都市OSについてご説明いただけたらと思います。大まかに。

○議長 玉城 勇君 企画財政課長。

○企画財政課長 与那嶺秀勝君 お答えします。都市OSとは、その都市にあるエネルギーや交通機関をはじめ、医療、金融、通信、教育など膨大なデータを集積、分析し、それらを活用するために自治体や企業、研究機関などが連携するためのプラットフォームのことを指します。以上です。

○議長 玉城 勇君 4番 石垣大志議員。

○4番 石垣大志君 ありがとうございます。ちょっと私自身も、概念が大き過ぎて言語化できるかちょっと不安ですが、この質問に至った背景といたしましては、やはりこのホームページのリニューアルが必要じゃないかという課題の認識の下にこういったホームページにしていくのかという部分を考えてときに、やはり今、もう本当にものすごいスピードでデジタル化が進んでいく中で、また同じようなホームページにするよりはですね、ちょっと一歩踏み込んだ新しいデジタル化の技術を活用したホームページだったりを作っていただきたいという思いで質問をさせていただきました。ちょっと事例を申し上げますと、県内では浦添市が全国でもいち早くこの都市OS構築に向けて取り組んでおりまして、このデータ連携、データの分析、蓄積。この住民サービスにおいては、オプトイン方式と呼ばれる住民の承認に基づいたサービスの提供の仕組みを活用して、氏名だったり生年月日、年齢、性別だったり町民の方々に登録していただいて、その上でその人に合った適切な情報をですね、その人その人に合った情報を配信、提供していく。そういったことを今取り組んでいると伺っております。この都市OSを活用することで、自分の考えとしましてはですね、

データ連携基盤のようなイメージをしております。もうちょっと本来は概念が大きいものだと思うんですけども、私の思いとしては、データ連携基盤のようなものをしっかり持ってですね、各部局の横断的なデータ連携というものも踏まえて、導入だったり調査研究をしていただきたいというふうに考えております。こういったあらゆるデータの分析だったりデータの連携基盤の必要性ですね、私は必要だと思っておりますけれども、本町の見解を伺えたらと思います。

○議長 玉城 勇君 企画財政課長。

○企画財政課長 与那嶺秀勝君 お答えします。委員おっしゃるとおり、本町のデジタル化の推進に伴い、こういった推進は大事だというふうに認識しています。さきに答弁がありましたように、国や県、浦添市の事例等もありますので、そういった部分も含めて今後、調査研究してまいりたいと思います。以上です。

○議長 玉城 勇君 4番 石垣大志議員。

○4番 石垣大志君 ありがとうございます。この答弁の中にもありますけれども、町のデジタル化の推進を行っていくというふうに答弁でもありますが、南風原町はどういったデジタル化を描いて進めていくのかですね、デジタル化に対する理念のようなものがあるのか教えていただきたいと思います。

○議長 玉城 勇君 企画財政課長。

○企画財政課長 与那嶺秀勝君 お答えします。現在、国のほうで自治体DXの推進計画という形で、国のほうで計画がありますので、この計画に沿ってですね、南風原町のほうとしてもこの推進化に向けてどうふうに取り組が行けるかということで、現在、取組方針について検討しているところです。以上です。

○議長 玉城 勇君 4番 石垣大志議員。

○4番 石垣大志君 ありがとうございます。このDXだったり、スマートシティだったり、個別に分けて考えることも大事だと思うんですけども、やはりこのデジタル化というくくりで計画だったり、方針だったりこういったものをしっかり持ってデジタル化を進めていただけたらというふうに思っております。

続いて、マイナンバーについてでございますけれども、現在の普及率が31.44%とのことでございます。マイナンバーが普及することで役所内の業務効率化が改善される。そういった業務があるかですね、まず伺いたいと思います。

○議長 玉城 勇君 住民環境課長。

○住民環境課長 金城直子さん お答えします。まず、住民環境課に係る部分についてお答えします。マイナンバーカードで、コンビニで住民票が取得できること

から、それによって窓口の混雑解消につながるものと見ております。以上です。

○議長 玉城 勇君 4番 石垣大志議員。

○4番 石垣大志君 これはまた各部局またがると思うんですけども、どれぐらいマイナンバーが普及することによって役所の業務全体的に効率化が図れるのか、大まかでいいので教えていただけたらと思います。

○議長 玉城 勇君 税務課長。

○税務課長 新垣奈津子さん それでは税に関する部分ですけども、税のほうは所得税とか消費税など、国へ確定申告をする際にですね、マイナンバーカードを使つての申告が可能となっております。今年の1月からスマートフォンを使つてのマイナンバーカードの読み取りが可能となっておりまして、以前のようにカードリーダーを購入手続きせずに申告ができるようになっておりますので、住民の利便性も向上しておりまして、また自宅にいながら確定申告ができますので、今後またさらにカードの普及が進みますと電子申告が増えていくかと思っておりますので、そうすると申告会場での混雑とか待ち時間の解消につながっていきます。また、申告者のみならず職員のほうも紙での管理がなくなってきますので、そういった面で負担軽減が図られてきます。ちょっと件数に関しては、今年まだスタートしたばかりですので、具体的な数値は持ち合わせておりません。以上です。

○議長 玉城 勇君 4番 石垣大志議員。

○4番 石垣大志君 ありがとうございます。やはり普及をすることで役所の業務効率化も図られて、町民の方々も利便性が向上することでありますので、とてもいいことだと思っているんですけども、やはり普及しない理由の一つとして、やはりマイナンバーを作ったほうが利便性向上しますよという案内をしたいんだけど、実際に電子申告が、電子申請がですね、様々な電子申請だったりができない状況であれば町民の方々も何のために作るかが見えてこないと思うんですね。ですので、この辺、早急に電子申請だったり、町民の利便性の向上ができるような状態を作った上でマイナンバーへ申請してみたいかということです。案内をすることが理想なのかなと思いますけれども、この辺の認識を伺えたらと思います。

○議長 玉城 勇君 企画財政課長。

○企画財政課長 与那嶺秀勝君 お答えします。議員おっしゃるとおり、このマイナンバーカードの活用について町民の方が利便性を感じるというふうな取組が必要だと思っています。先ほど答弁したように自治体DXのほうで令和4年度に向けて行政手続のオンライン

化のほうを進めていきますので、そういった部分でこの町民に対しての利便性が図れるというふうに考えています。そういったものを令和4年度に向けて取り組みながら、町民の方々にこのマイナンバーカードの利便性の普及啓発に努めていきたいと考えています。以上です。

○議長 玉城 勇君 4番 石垣大志議員。

○4番 石垣大志君 ありがとうございます。この全国の事例を見たときにマイナンバーの申請率が79%の自治体がございます。この自治体は170種類の電子申請を可能にすることで、令和2年4月のマイナンバーの交付率ですね、13.9%から令和3年8月には69.3%まで交付率が上昇しております。やはりこの的確なマイナンバーの活用のメリットが提示できれば、これぐらいまで交付率だったり申請率が上昇するということも事例としてありますので、是非ですね、普及によるメリットを実現して、その上で申請の案内を行っていくという取組を是非とも行っていただきたいというふうに思います。

そうですね。是非、今回の委員会の中でも職員の数だったり、会計年度任用職員のお話だったりとか様々な課題として上がっているというふうに思っております。こういった部分もやはりデジタル化を活用することで解消できると思っておりますので、やはりこの職員の時間を作つてですね、その時間を窓口に来ていただいた、来ていただくということは何かしらの相談内容が重い相談内容だったりがあると思うので、その部分に適切に対応できるような体制づくりを是非ともつくっていただきたいと思います。その部分をデジタル化でカバーしていくというような、取組を行っていただきたいというふうに思います。では、次に移ります。

続いて、浸水被害軽減対策についてでございます。答弁の中で現在、示せる調査結果は……そうですね。ごめんなさい。失礼しました。質問事項2、浸水被害軽減対策について。（1）現在、示せる調査結果はあるか。（2）今後のスケジュールについて伺います。以上、答弁よろしくお祈いします。

○議長 玉城 勇君 副町長。

○副町長 国吉真章君 では質問事項2点目の浸水被害体制軽減対策についての（1）と（2）については関連しますので、一括してお答えします。現時点で示せる調査結果はありませんが、令和4年度は、宮平川全体で、草木の処理及び川底に堆積している土砂を除去し、被害の軽減を図るため緊急浚渫推進工事を実施いたします。さらに、宮平川、手登根川の流域において、河川を含む測量、調査、河川への流入、既設管路、

道路排水炉等の詳細な分析など総合的に検討し、浸水対策の計画・立案を実施する予定であります。以上です。

○議長 玉城 勇君 4番 石垣大志議員。

○4番 石垣大志君 ありがとうございます。答弁の中で、現在示せる調査結果はありませんとのことですが、この調査結果はいつ頃出てくるのか伺えたらと思います。

○議長 玉城 勇君 まちづくり振興課長。

○まちづくり振興課長 仲里 明君 お答えいたします。令和4年度においてですね、今の回答にもございますけれども、浸水被害の軽減に向けて取り組んでまいります。それから全体的な調査も行っておりますので、その辺の状況も調査結果を踏まえまして、対策に向けたそういった方針が示せるかなというふうに思っております。

〔石垣大志議員より「休憩願います」の声あり〕

○議長 玉城 勇君 休憩します。

休憩（午前10時19分）

再開（午前10時19分）

○議長 玉城 勇君 再開します。まちづくり振興課長。

○まちづくり振興課長 仲里 明君 お答えいたします。調査結果の時期ということなんですけれども、令和4年度において総合的に調査をしてまいりますので、令和4年度末にはそういった結果、分析した状況については出てくるというふうに認識しております。

○議長 玉城 勇君 4番 石垣大志議員。

○4番 石垣大志君 ありがとうございます。この令和4年度末の調査結果に基づいて様々な対策を講じていくという理解でいいんですよね。大丈夫です。その間はこの緊急浚渫推進事業で浚渫を行っていくという理解でいいんですかね。確認します。

○議長 玉城 勇君 まちづくり振興課長。

○まちづくり振興課長 仲里 明君 お答えいたします。町としては委託を発注してから結果が出るまではかなり期間を要すると思いますので、短期的な対策といたしましては、そういった緊急浚渫事業を活用しながら進めていきたいと。それから同時に、浸水が想定されている区域については、早期にですね、ちょっと維持管理上の問題もありますので、対策を講じてまいりたいと思っております。

○議長 玉城 勇君 4番 石垣大志議員。

○4番 石垣大志君 ありがとうございます。少し確認したいのがありましてですね、前回の豪雨に関してでございますけれども、南風原中学校裏門の部分の氾

濫が私はあったと思っているんですけれども、その部分は把握しているのか伺えたらと思います。

○議長 玉城 勇君 まちづくり振興課長。

○まちづくり振興課長 仲里 明君 お答えいたします。南風原中学校というふうなことがありましたけれども、この氾濫要因についてはいろんなこと、原因が挙げられると思います。内水的なものなのか、それとも河川が氾濫を起こした影響で氾濫としているのかというふうなことがありますので、実際のところこういった氾濫を把握しているかということについてはですね、現状はどういった要因なのかを示すことができませんので、一概には言えないかなと思って……、把握は今のところでできておりません。

○議長 玉城 勇君 4番 石垣大志議員。

○4番 石垣大志君 休憩をお願いします。

○議長 玉城 勇君 休憩します。

休憩（午前10時22分）

再開（午前10時23分）

○議長 玉城 勇君 再開します。4番 石垣大志議員。

○4番 石垣大志君 ありがとうございます。この南風原中学校裏門の部分もちろん浚渫はするということですのでよろしいですね。確認します。

○議長 玉城 勇君 まちづくり振興課長。

○まちづくり振興課長 仲里 明君 お答えいたします。今回、令和4年度においては起点から終点まで浚渫作業を行いたいと考えております。

○議長 玉城 勇君 4番 石垣大志議員。

○4番 石垣大志君 ありがとうございます。宮平川の、この南風原中学校裏門の部分ですね、是非早急に浚渫を行っていただき、少しでも被害の軽減につなげていっていただきたいというふうに思います。次に移りたいと思います。

3. 安全対策について。（1）町道3号線北丘児童館から北丘小学校正門にかけて、防護柵の老朽化が見受けられます。児童生徒の安全確保のために早急な対応が出来ないか伺います。

○議長 玉城 勇君 副町長。

○副町長 国吉真章君 では質問事項3点目の安全対策についてお答えします。現場調査を行ったところ、ご指摘のある防護柵の老朽化した箇所を確認いたしましたので、早急に安全対策を講じてまいりたいと思います。

○議長 玉城 勇君 4番 石垣大志議員。

○4番 石垣大志君 ありがとうございます。交通安全対策に関してでございますけれども、この北丘小学

校周辺の防護柵ですけれども、いつ頃までに予定しているかですね、伺えたらと思います。

○議長 玉城 勇君 まちづくり振興課長。

○まちづくり振興課長 仲里 明君 お答えいたします。令和4年度に向けて対策を講じてまいりますけれども、まずは見積りを依頼しまして、それから早急に対策を講じていきたいと思っていますので、时期的なものについてはですね、そういった見積りも精査しながら早めに対応したいというふうには考えております。

○議長 玉城 勇君 4番 石垣大志議員。

○4番 石垣大志君 ありがとうございます。早急に是非対応していただいて、ちょっとこのガードレールですか、防護柵ですか、もうへこんだりしていますので。また周辺の北丘宮平区域、ところどころに事故の跡だったりが残っておりますので、全体的に防護柵に関しても早急な対応を是非お願いしたいと思います。

残り、一般質問も6月で最後となりますので、自分の思いをどんどんぶつけていけるようにこれからも頑張っていきたいと思っています。以上で終わります。ありがとうございます。

○議長 玉城 勇君 お疲れさまでした。

休憩します。

休憩（午前10時27分）

再開（午前10時29分）

○議長 玉城 勇君 再開します。

通告書のとおり順次発言を許します。9番 金城好春議員。

〔金城好春議員 登壇〕

○9番 金城好春君 おはようございます。一般質問3日目の2番手、通告書に従い質問いたします。よろしくお願いいたします。今日は、3点質問いたします。まず、大きな項目1番目、津嘉山北土地区画整理事業についてお伺いします。（1）旧津嘉山ハイツ区域の宅地造成の完了はいつかお伺いします。（2）町道17号線とその沿線の宅地造成はいつ始める予定か、また完了はいつ頃か。（3）本部公園線の整備はどこから始める予定か。（4）町道72号線から津嘉山大橋までの区間の整備完了はいつ頃の予定か伺います。

大きな項目2番目、津嘉山中央線の整備についてお伺いします。（1）津嘉山中央線（2工区）の完了までのスケジュールを示して下さい。

大きな項目3番目、安心・安全な歩道環境についてお伺いします。（1）国道507号バイパス沿いの歩道（津嘉山公園隣）の側溝の上に大きな植木鉢が10鉢近く設

置されたままになっています。そのため雨水が側溝に行かず歩道に流れ出て一年中ぬかるんだ状態になっていて歩行に支障を来しています。改善できないか。以上、3点お伺いします。よろしくお願いいたします。

○議長 玉城 勇君 副町長。

○副町長 国吉真章君 では質問事項1点目の津嘉山北土地区画整理事業についての（1）についてお答えします。令和4年度完了予定を見込んでおります。

（2）についてお答えします。令和4年度から一部造成工事を始め、令和6年の完了を予定しております。

（3）についてお答えします。県営第2団地近くの津嘉山中央線交差点の西側部分から進めてまいります。

（4）についてお答えします。事業計画変更認可が下り次第、擁壁の修正設計業務完了後に工事発注を行い、令和6年度完了を目指してまいります。

質問事項2点目の津嘉山中央線の整備についてお答えいたします。津嘉山中央線（2工区）の事業については、平成28年度から事業開始を行い、令和10年度完了を予定しております。

質問事項3点目、安心安全な歩道環境についてお答えいたします。国道507号バイパス沿いの歩道に置かれている植木鉢については、不法占用物となっています。設置者を確認し、雨水状況の改善に向けて取り組んでまいります。以上です。

○議長 玉城 勇君 9番 金城好春議員。

○9番 金城好春君 ありがとうございます。再質問いたします。まず、1番目の津嘉山ハイツ区域の宅地造成の完了についてお伺いしましたけれども、令和4年度ということで答弁いただきました。それで、以前から質問をして、お願いをしているところなんですが、本部公園線沿いの、街区でいうと95街区、96街区、ここの区域の整備はあと何筆残っているのかお伺いしたいと思います。

○議長 玉城 勇君 休憩します。

休憩（午前10時35分）

再開（午前10時37分）

○議長 玉城 勇君 再開します。区画下水道課長。

○区画下水道課長 山城 実君 お答えいたします。今明確なものは把握できておりませんが、今確認できる状況で4筆、4区画です。以上です。

○議長 玉城 勇君 9番 金城好春議員。

○9番 金城好春君 この立派な本部公園線、大きな道路はほぼ開通していますよ。開通したその後に、もうどんどんどんどん店舗やらアパートやら住宅やら建設されてきていますよ。今もアパート、住宅が何件か建設中です。もうこの綺麗な大型道路が完成しています

のでね、その沿線の地主はもう待っていましたと言わんばかりにすぐ建設に取りかかっているわけですね。なぜ、この立派な道路が完成するにもかかわらず、4筆が取り残されているのかお伺いしたいと思います。

○議長 玉城 勇君 区画下水道課長。

○区画下水道課長 山城 実君 お答えいたします。昨今の経済状況といいますか、国からの補助金のつき具合が3割程度という形になっておりまして、私たちが思うような工事の進捗ができなくなったのが原因かと考えております。以上です。

○議長 玉城 勇君 9番 金城好春議員。

○9番 金城好春君 予算のこともあると思いますけれども、最初に副町長が答弁なさったように、令和4年度中には換地が、この公園線沿いの4筆も終わると、換地するというところでよろしいですか。

○議長 玉城 勇君 区画下水道課長。

○区画下水道課長 山城 実君 お答えいたします。そのとおりです。以上です。

○議長 玉城 勇君 9番 金城好春議員。

○9番 金城好春君 もう1点、もう以前からですね、この本部公園線の歩道ですよ。まだ砂利のまま、以前からもうずっと言い続けていますよ。住宅もアパートもどんどんどんどん建っていくのに、歩道は未整備のまま。これはいつアスファルト舗装しますか。お伺いします。

○議長 玉城 勇君 区画下水道課長。

○区画下水道課長 山城 実君 お答えいたします。今現在、国道507号のファミリーマート近く、以前から議員がおっしゃっていました交通安全施設ですね、そういったものをまず早めに整備していったら、そのあと予算が余りましたらと言ったら何ですが、予算残の分で舗装をやっていききたいというふうに考えております。まずは安全対策をしっかりとやって、その上、歩道舗装をしてまいりたいというふうに考えております。以上です。

○議長 玉城 勇君 9番 金城好春議員。

○9番 金城好春君 ありがとうございます。安全対策大変重要です。そして、この砂利道の舗装ですね、これも、前回も事例を申し上げましたけれども、老人が歩道をウォーキングしていると、そして滑って尻餅ついたということを聞かされたのでね。これも一つの安全対策だと思いますので、早めに舗装をお願いしたいと思います。要望します。この1番目の質問は終わります。

次(2)の町道17号線の、その沿線の宅地造成についてなんです、これも92街区と94街区ですね。この

地域は南側は津嘉山西線が開通しています。その裏手のほうの低いところなんです。段差が5、6m以上あると思われますが、整理の仕方はどのような工法でやる予定なのかお聞かせいただきたいと思います。

○議長 玉城 勇君 区画下水道課長。

○区画下水道課長 山城 実君 お答えいたします。今現在ある、議員がおっしゃっていた92街区、94街区に関しましてなんですが、ただいま補償交渉を行っているものが5件ございます。そのうち令和3年度で1件補償いたしまして、今現在契約して取り壊し中となっております。あと3件につきましては交渉中でありまして、できるところからですね、津嘉山ハイツが近くにありますので、そちらのほうから土を搬入して整理していくという形で今考えております。以上です。

○議長 玉城 勇君 9番 金城好春議員。

○9番 金城好春君 土はありますか。ハイツに残っている土で。それを伺います。

○議長 玉城 勇君 区画下水道課長。

○区画下水道課長 山城 実君 お答えいたします。足りるものと思っております。以上です。

○議長 玉城 勇君 9番 金城好春議員。

○9番 金城好春君 安心しました。今まで、これも含めか、く良質の土を全部町外に今まで運んでいたわけですよ。町内の低いところに埋めるか、かさ上げるか。以前から申し上げてきましたけれども、もし、これも全部町外に持ち出されていたら、今伺っている92街区、94街区、窪地です。そこに埋め戻しする土がなくなるところでした。間に合ったということで大変安心しています。

それともう1点。今、町道17号線が走っていますね。この道路は残りますか。あるいはこの92街区と94街区の中に組み込まれるのかどうか、お伺いします。

○議長 玉城 勇君 区画下水道課長。

○区画下水道課長 山城 実君 お答えいたします。町道17号線に関しては一部分は宅地のところに換地される場所もありまして、あと一部分道路に残る箇所があります。以上です。

○議長 玉城 勇君 9番 金城好春議員。

○9番 金城好春君 残るということは、今の道路幅のまま残すわけですか。それにまたさらに拡張して側溝をつけたり、新たな整備をしますか。

○議長 玉城 勇君 9番 金城好春議員。

○9番 金城好春君 お答えいたします。この部分に関しては6メートルの区画道路が構築されます。その中に側溝もついてきます。以上です。

○議長 玉城 勇君 9番 金城好春議員。

○9番 金城好春君 分かりました。今以上に立派な整備された道路になるということで理解しました。町道17号線とその沿線の整備については終わります。

次、(3)本部公園線はどこから始める予定かとお伺いしましたが、東側から始めるということを答弁いただきましたけど……。

○議長 玉城 勇君 休憩します。
休憩(午前10時48分)
再開(午前10時48分)

○議長 玉城 勇君 再開します。9番 金城好春議員。

○9番 金城好春君 (3)の本部公園線の整備はどこから始めるかということで、県営第2団地近くの津嘉山中央線交差点の西側部分から始めますという答弁でございますね。ありがとうございます。これは先ほどお伺いしました……、失礼しました。あと何年を予定しておられますか。それをお伺いします。

○議長 玉城 勇君 休憩します。
休憩(午前10時49分)
再開(午前10時50分)

○議長 玉城 勇君 再開します。区画下水道課長。

○区画下水道課長 山城 実君 お答えいたします。現在のところ未定であります。

○議長 玉城 勇君 9番 金城好春議員。

○9番 金城好春君 3番は終わりました、4番へ移ります。

町道72号線から津嘉山大橋までの区間の整備完了はいつ頃の予定か。これも本部公園線の一部だと思えますけれども、よろしくお願いします。

○議長 玉城 勇君 休憩します。
休憩(午前10時50分)
再開(午前10時51分)

○議長 玉城 勇君 再開します。9番 金城好春議員。

○9番 金城好春君 失礼しました。ここも、ここはまた逆に斜面になっていますけれども、どのような工法を予定しているのかお伺いしたいと思います。

○議長 玉城 勇君 区画下水道課長。

○区画下水道課長 山城 実君 お答えいたします。議員がおっしゃっている箇所は松風苑前の84街区から78街区に向けて津嘉山大橋側に抜けていくところの道路の意味合いだと思っておりますが、今現在、事業計画見直しをしております、これが来年度、令和4年度末ぐらいまでかかるのではないかと考えておまして、その後に擁壁等の修正設計を行いまして、この部分に関しては令和6年度という形で回答させていただ

いております。本部公園線全体の完了が未定だということをご理解ください。以上です。

○議長 玉城 勇君 9番 金城好春議員。

○9番 金城好春君 ありがとうございます。次に移ります。

大きな項目の2番、津嘉山中央線の整備について、再質問をさせてください。県道128号線から南側、この十字路の一部分工事が着手されていますけれども、この場所は区画整理事業の予算の範囲内で工事をしたということによろしいですか。

○議長 玉城 勇君 都市整備課長。

○都市整備課長 宮城良武君 お答えします。議員おっしゃるとおり、津嘉山中央線(2工区)のご質問だと思うんですが、今議員のおっしゃるところは区画整理区域内の事業区域内でして、現場も地域の方もよくご覧になってやったというか、この交差点付近が区画整理で一部巻き込みまで終わってですね。今後は、津嘉山2工区ですね。1工区が令和3年度末で完了しまして、それから2工区に向けて同じ事業で今やっています。今おっしゃるところが区画整理で工事が終わっているところであります。

○議長 玉城 勇君 9番 金城好春議員。

○9番 金城好春君 ありがとうございます。そこからですよ、あれはさらに南側に向くのかな。次の工事、令和4年度はどこまで工事するのか、どのような工事をするのかお伺いしたいと思います。

○議長 玉城 勇君 都市整備課長。

○都市整備課長 宮城良武君 お答えします。令和2年度においては工事はございません。この津嘉山2工区の事業ですね。津嘉山1工区が、先ほど言いましたように令和3年度に完了しまして、今、区画整理区域内のこの巻き込み部分の一部が終わりまして、それから2工区へ、これは街路事業で行う事業なんですけれども、議員さんおっしゃるように令和4年度は工事費をちょっと工面できなくて報償費のみの計上で、令和5年以降にまた工事費を計上する予定で、それは今1工区と読んでいますけれども津嘉山中央線が完了して、今言った区画整理の巻き込み分が終わって、これから基本的には2工区は仲井真津嘉山線までの事業で今2工区を事業化していますけれども、基本的には1工区側から工事を行いたいということで今考えております。工事をするに当たってはどうしても物件補償の契約、用地の契約だったりとかですね。そういうのを終えないと工事に移れない関係で、令和4年度は用地費、工事費のみの計上となっています。以上です。

○議長 玉城 勇君 9番 金城好春議員。

○9番 金城好春君 分かりました。ありがとうございます。中央線について終わります。

項目3の安心・安全な歩道環境について再質問します。この大きな植木鉢なんですけど、私は国か県の所有物と思っていたんですが、違うんですか。

○議長 玉城 勇君 都市整備課長。

○都市整備課長 宮城良武君 お答えします。今、議員の質問ある箇所は、私どもも前から現場確認をしております。今、国、県の管理のところではないかということですね。数年前に、向こうは津嘉山トンネルが二連でありますけれども、手前側ですね、那覇側のトンネルの手前側に今質問にあります鉢が置かれています。向こうは津嘉山公園の整備区域の間知ブロックというんですけれども、間知ブロックは公園内で整備しています。それと、歩道は507号バイパス、もちろん県整備、県管理です。逆にちょっと残地がありまして、間知ブロックと歩道の間に約1メートル50ぐらいですかね、残地があるんですよ。その残地部分にこの鉢が置かれていまして、逆に県のほうから、公園敷地にこれがあるんだけれどもということで問合せをされまして僕らも調査しています。たしかに議員おっしゃるように雨水の妨げになっているというのは僕ら認識しています。ただ、この事業で置いているものではなく、答弁にもありますとおり不法占用という形になっているものですから、僕らも不法投棄なものですから手続ですね、不法投棄という張り紙等を法にのっとってやりながら、管理的には僕らの公園敷地にあるものですから、それはまた調査しながら議員のおっしゃる対応をしたいと思っております。以上です。

○議長 玉城 勇君 9番 金城好春議員。

○9番 金城好春君 分かりました。早くこれをどこかに移してもらって、きれいで歩きやすい安全安心な歩道にさせていただきたいと要望して終わります。ありがとうございます。

○議長 玉城 勇君 お疲れさまでした。

休憩します。

休憩（午前10時59分）

再開（午前11時09分）

○議長 玉城 勇君 再開します。

質問に入る前に、区画下水道課長から訂正の要請がありますのでそれを認めます。区画下水道課長。

○区画下水道課長 山城 実君 先ほど金城好春議員の大問1、津嘉山北土地区画整理事業について。（1）旧津嘉山ハイツ区域の宅地造成の完了はいつ頃かという質問に対して、こちらのほうで、換地の取れない筆数、画地は幾つありますかということがありまして、

私のほうは4画地、4筆という答弁をしましたが、正式な数は6画地です。以上、訂正いたします。

○議長 玉城 勇君 それでは、通告書のとおり順次発言を許します。12番 赤嶺奈津江議員。

〔赤嶺奈津江議員 登壇〕

○12番 赤嶺奈津江さん すみません、質問に入る前に休憩をお願いします。

○議長 玉城 勇君 休憩します。

休憩（午前11時10分）

再開（午前11時11分）

○議長 玉城 勇君 再開します。12番 赤嶺奈津江議員。

○12番 赤嶺奈津江さん 11時を過ぎましたので皆さんこんにちは。一般質問最終日ラストバッター、最近ラストでさせていただくのが多いんですけれども、今回もラストで行きたいと思います。今回、3問やっておりますので、これまでの提案と実現したものも含めてですね、さらなる提案という形もありますので、是非前向きな答弁をお願いしたいと思います。

1問目です。教育行政について問う。（1）コロナ禍において、学校教育現場では学級閉鎖等が多くあり、教職員・教育部局においての業務量は増えたと思う。課題と対策をお伺いいたします。（2）町立図書館の電子図書貸し出し状況と今後の図書整備についてお伺いいたします。（3）前回も質問いたしましたけれども、新年度に向けての進捗があるかどうかということでお伺いしたいと思います。コミュニティ・スクールの進捗状況についてお伺いいたします。（4）北丘小学校体育館改築・プールの改修、学校給食共同調理場、南星中学校の改修改築、その他、教育部局ではハード・ソフト面共に整備・事業が今後続いていくと考えております。職員体制の強化が必要と思うがどうでしょうか。お伺いいたします。

大問2です。これまでも一般質問、また本会議、予算のときは聞いてきましたけれども、学童期の生活習慣病予防の取り組み、一括交付金を使用している事業ですけれども、私は大事な事業だと思っておりますのでこの点について質問させていただきます。（1）健診を行っているが、今年度の受診状況とこれまで医療受診へつなげた児童の状況はどうなっているか、お伺いいたします。

大きい問3、令和3年3月にも質問いたしましたけれども、町が事務委託をしている自治会に対して、個人情報等も管理する自治体、そこから監視カメラを

導入したいという際には助成事業を行ってほしいということで質問しております。（１）令和３年３月定例会でも質問をいたしました、その後の状況はどうなっているかお伺いいたします。よろしくお願いします。

○議長 玉城 勇君 教育長。

○教育長 新垣吉紀君 質問事項１点目、教育行政についての（１）についてお答えいたします。学校では、学級閉鎖等に伴う保護者への連絡や学びの保障などへの対応が課題となっており、急なＰＣＲ検査対応や学級閉鎖等にも対応できるよう、学校全体での体制整備や事前の課題用意、それから児童生徒用端末を持たせるなどの対策を行っております。教育委員会では学校ＰＣＲの対応等が円滑に対応できるように関係機関、連携を密にして、各職員で分担して対応しております。

続きまして（２）についてです。電子図書館を開始した令和２年度の月平均貸出しは３６８冊、令和３年４月から令和４年２月までの月平均貸出しが１,８０７冊と増加しております。今後も増書を図り、図書整備を行ってまいります。

（３）です。コミュニティスクールの導入検討会議を昨年２月に実施しました。その後、新型コロナ感染症拡大により、オンラインを活用した勉強会を行っております。

（４）です。授業料に応じ必要な職員を配置して対応をしてみたいと思います。以上です。

○議長 玉城 勇君 副町長。

○副町長 国吉真章君 それでは質問事項２点目の学童期の生活習慣予防の取組について問うについてお答えいたします。今年度の受診率は小学生で３７．８％、中学２年生で３２．４％です。これまで医療受診につなげた児童生徒へは個別に保健指導、栄養指導を行う等、必要に応じてフォローアップをしております。

質問事項３点目の自治会の監視カメラ導入への助成事業についてお答えします。自治会の監視カメラ導入への助成事業について、他市町村の事例を参考に検討を行いました、セキュリティ対策やデータ漏えい対策、助成費用などの課題があります。今後、区長会での意見交換も含め引き続き検討してまいります。以上です。

○議長 玉城 勇君 １２番 赤嶺奈津江議員。

○１２番 赤嶺奈津江さん ありがとうございます。それでは再質問から一問一答でいきたいと思いますのでよろしくお願いします。コロナ禍において学校教育現場では大きな変化があり、子どもたちも登校できないとかですね、修学旅行、遠足、様々な行事が開催されずに、うちの子も高校３年生で今回卒業したんですが、

学校の行事をほとんど行うことがなく、卒業式も保護者は参加なくオンラインでという形で、オンラインの日も全協でしたので私はオンラインで見ることもなく、そのまま終わったんですけれども、そういった中でですね、学校の先生たち、そういうことを検討することでもこれまでなかった業務の一つですし、個々の子どもたちも、中には登校できない子がいたりとか、登校しぶりではないけれども登校が怖い子という子もいましたよね。そういった中であったり、学級閉鎖であったりということで、なかなか難しい現場対応があったのではないかなというふうに思うものですから、その中で、実際現場として業務が重くなったと感じる先生方が多くなったと思うんですけれども、現場の実態としての声を聞きたいと思うんですが、いかがでしょうか。

○議長 玉城 勇君 統括指導主事。

○統括指導主事 大城 圭君 お答えいたします。コロナ禍の中で、実際に業務量の話なんです、日常的な業務では毎朝の健康観察、検温等ですね、健康観察に始まり、早めに出勤する先生方が必要になる状況でした。学校では全職員でローテーションを組んだり、中学校においては副担任の先生方を中心にその対応をしたということです。また、学級で陽性者が出た場合の実施される学校ＰＣＲの対応、これが特に学校の先生方にとっては精神的な、体力的な面でも負担になっているというふうに言っております。ただ、県の委託業者による検体の回収の業務等が進んだおかげで先生方の業務の軽減はしているのかなというふうに考えております。あと、議員のほうからありましたコロナ禍の不安による欠席や登校不安の子どもたち、保護者の相談が増えているというふうに報告があります。学級担任を中心に養護教諭、心の教室相談員、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等を活用してその相談業務に当たっております。以上です。

○議長 玉城 勇君 １２番 赤嶺奈津江議員。

○１２番 赤嶺奈津江さん 学校現場でもかなり負担が増えているということで、学校現場だけではなくて、職員のほうにも学校とのやり取り、その他、主事もお二人ということになったんですけれども、その中でもなかなか思うように授業が進まなかったりということもあったというふうに聞いていますけれども、教育部局での状態ですね、学校との連携の在り方ということでは、これまでになかった業務がかなり増えているのかどうかを確認したいと思います。

○議長 玉城 勇君 休憩します。

休憩（午前１１時２０分）

再開（午前１１時２１分）

○議長 玉城 勇君 再開します。統括指導主事。

○統括指導主事 大城 圭君 教育部、教育委員会のほうでは、特に学校PCRに関しては、実際に検体の容器の準備とか学校への配布等を学校PCR支援チームと連携して行っております。実際の検査等は各学校で行うんですが、そういう形で支援チームとの調整等が出てきているというふうな状況です。以上です。

○議長 玉城 勇君 12番 赤嶺奈津江議員。

○12番 赤嶺奈津江さん ありがとうございます。それぞれ部局のほうでも学校のほうでも負担が大きくなっている。役場全体でコロナに対する対応というのはかなり厳しい状況ではあると思うんですが、やはり対外的に、常に子どもたちと接して、また保護者も関連してというところでは保育園であったり民生部のほうでもあると思うのですが、そういったところにはかなりの負担増になっているのかなというふうに思います。また子どもたちもですね、なかなか授業を終わらせきれていない。実際、私のところに来た情報の中では他の自治体で授業がもう間に合わず、教科書をここまで読んでくださいというような指導があったりとか、学校の授業ではどうしても間に合わない、また学年またぎになるのではないかというような話もあるんですが、その現状をお伺いしたいと思います。

○議長 玉城 勇君 統括指導主事。

○統括指導主事 大城 圭君 お答えいたします。標準授業時数においては、数時間の不足数が出た学年教科はありましたが、各学校において学習内容の重点化を計画的に行い、学習内容については全て履修することができており、次の学年にまたいで学習する対応はありません。以上です。

○議長 玉城 勇君 12番 赤嶺奈津江議員。

○12番 赤嶺奈津江さん ありがとうございます。実際、授業が受けられずにということは、低学年から数学、掛け算とか苦手な分野が出てくるところで引っかかるとどうしても後に響いたりとか、また受験を控えてる子どもたちが、その授業が間に合わなくて受験の科目を受けたときに、実際テストに出ても分からないとかですね、そういったこともあるというふうに聞いています。実際高校生のほうでも、学級閉鎖とか学校休校の対応が長くて、受験の際にはその受験科目にそういう本来受けてないといけない科目が出ていたとかそういった話もありましたので、そういったフォローとかをやったりやっていただかないといけないというところでは、教育部局、また教員の先生方にはかなり頑張っていただかないといけないというふうに感じてお

りますので、今後どういうふうな形で、どんどん緩和されてきて、対応も変わってくるということですが、まだまだ学級閉鎖はあるというふうに聞いていますけれども、今後の対応としてこれまでと変わった点があれば確認したいと思います。

○議長 玉城 勇君 統括指導主事。

○統括指導主事 大城 圭君 コロナ禍の対応で学習の保障という意味では、先ほどの学習内容の重点化もそうですが、特にオンラインを活用した授業等を実施して、実際に不安で登校できない子どもたち等の支援についても実施可能になっていくだろうなというふうに考えております。以上です。

○議長 玉城 勇君 12番 赤嶺奈津江議員。

○12番 赤嶺奈津江さん ありがとうございます。実際、子どもたちが不安で登校できないという中でフォローしていく、保護者も不安の中であれば、教育委員会だったり教職員がかなり力を入れないといけないというところだと思いますので、これからは是非ご尽力いただきたいというふうにこちらのほうは要望したいと思います。

次に（2）に移りたいと思います。町立図書館の電子図書の貸出し状況ということで、かなり増えているということが確認できて大変うれしく思っています。実際、私が最初にこの電子図書の提案、質問をしたのが平成27年、2015年の6月定例会で初めて提案させていただいて、そこから導入まで令和2年、2020年10月から導入ということですが、コロナ禍の影響もあって電子図書、改めて見直し導入ということでは、教育部局の尽力にも感謝しております。実際、なかなか図書館に行けないとかそういった方々からは電子図書が導入されて活用できることを嬉しいということで、問合せ等もありましたし、かなり反響もよかったので、私はとてもよかったなというふうに思っています。これがコロナ禍でなく、通常状態で導入できたらさらによかったんですが、是非今後もですね、南風原町は10.76平方キロメートルですか。県内で4番目に小さい町ということで、敷地もかなり厳しい中では図書館も面積がなかなか確保できないというところでは、南風原らしい自分たちの本旨をしっかり持った図書館運営をやっていただきたいというふうに思うんですが、その中では、やはり幼児のほうではなかなか電子図書というわけにもいきませんので、コロナ禍が落ち着いた際には、今、キッズコーナー、幼児コーナーがありますけれども、そこをしっかりと生かして、また大型絵本とか子どもたちが喜ぶようなものは充実させてほしいというふうに思うんですが、今後の方針を改

めて確認したいと思いますが、教育長いかがでしょうか。

○議長 玉城 勇君 教育長。

○教育長 新垣吉紀君 議員の皆さんからもうちの図書館、物理的なキャパが小さいんじゃないかというふうな声もごさいますが、議員からの提案もあったように電子図書、それから幼児の絵本等を含めた図書ですね、そういったやはり特色のある図書館づくりが必要であろうというふうに我々としても考えております。どんなに大きく図書館を造っても、やっぱり千差万別、いろんなジャンルで好みは相当別れますので、うちの規模であればそういったふうな児童の重点化とか、そういったのも、今後、町民の声もいろんな場所で確認もしながら、南風原町にできる魅力ある図書館づくり、それについてみんなでつくっていききたいというふうに考えております。

○議長 玉城 勇君 12番 赤嶺奈津江議員。

○12番 赤嶺奈津江さん ありがとうございます。実際、本に触れる一番最初は赤ちゃんの読み聞かせからだと思うんですけども、そちらのほうではやはりタブレットとかというよりも、紙で戻って行って、子どもが触ってというふうなところで、やはり本がいいのかなというふうに私も思います。大型絵本だったりだと、みんな多人数の子で見たりとか、それぞれに特化したところがあればとてもいいんじゃないかなというふうな形での提案になっています。要望はいろいろあると思うんですけども、やはり町としてしっかりとした方針がないと答えきれなくなっていくますよね。だからそこをしっかりと持っていつていただきたいというふうに思います。またですね、これまで中央公民館の会議室使用をインターネットで申込みできないかというふうな形で提案してきましたけれども、利用状況とかが、もし貸出しがない日とかがあれば、狭いのであれば、図書館に人が入らないぐらいであればですね、会議室を提供して、そこで子どもたち、高校生とか中学生とかが勉強できる環境を作るとか、そういうふうにもやっていただきたいなというふうに思うんですけども、いかがでしょうか。

○議長 玉城 勇君 生涯学習文化課長。

○生涯学習文化課長 島袋 健君 ただいまのご質問にお答えいたします。まず、先ほどですね、本町に特化したといいますか、特色ある図書館運営に努めている、教育長からも答弁あったところでございますが、実際にあのスペースの一角、議員からもございましたように、赤ちゃんタイムと称しまして、毎月の第1、第3木曜日の午前中、小さいお子様連れの利用者でも

利用しやすい環境を整えているところです。そのうちの1つの曜日に、第3木曜日ですか。読み聞かせタイムを、今コロナで実施できておりませんが、コロナ禍の以前はそういうのも取り組んでいたところでございます。引き続きそういう図書館を、特色ある図書館づくりを目指してさらなる利便性の向上に努めてまいりたいと思っております。

あと、今の学習スペースですが、こちら2階に学習スペースを11席ですか、これもコロナ禍で約半数にしているところであります。下の閲覧席も同じく8席ということで2分の1にしているところでありますが、今ご提案のごさいました、他のところで使えないかについてはそういった必要に応じて利活用できる研修室等が活用できないかというところは、今後また検討して取り組んでまいりたいと考えております。以上です。

○議長 玉城 勇君 生涯学習文化課長。

○生涯学習文化課長 島袋 健君 ちょっと答弁漏れがございました。再度補足いたします。施設の予約システムに関しましては、今、いろんな専門的な知見を有している方からの情報等も参考にしながらですね、どうか予約状況等までは公開といいますか、アップできるような状況のところの近くまで取り組んでいます。近々こちらについても、運用ですか、できている分から進めていきたいと考えているところであります。以上です。

○議長 玉城 勇君 12番 赤嶺奈津江議員。

○12番 赤嶺奈津江さん ありがとうございます。今、使用状況が確認できるような状況まで持ってきているということです。そういう状況の中で確実に空いている日があればですね、子どもたちに貸出しできるとか、テーブルを窓際とか壁際に置いて、そこで勉強できるとかそういった状況も作ってもらえたら、さらに利活用しやすくなるのかなというふうに思いますので、そこは検討していただきたいと要望したいと思います。次に移りたいと思います。

コミュニティースクールの状況確認ということで、質問していますが、これも前回やりましたけれども、手を挙げている学校もあるというふうな情報もありましたが、新年度どういう状況になっているのかが、まだはっきり見えないということだったので質問させていただきました。実際、コミュニティースクールという名前にこだわらずやってほしいという要望を出しましたが、これはですね、他の地域ではコミュニティースクールという形じゃなくてPTCA、地域コミュニティが入るという形での運営をされていることもあります。そういった形でも少しでもいいので、

地域が関わって子どもたちの見守りができるような形にしてほしいということで質問をしていますけれども、そういった形での動きはないでしょうか。

○議長 玉城 勇君 教育部長。

○教育部長 金城郡浩君 今現在はまだ勉強中というか、そういう状況がございます。議員が提案しました、そういった地域で学校を盛り上げて、まず盛り上げるという意味ではいろんな学習の面でも、それから子どもたちの安心安全の面でもいろんな意味で地域が関わってですね、地域が自分たちの学校という形でそういう形のコミュニティーを作っていくというふうなことは、おっしゃるような感じで我々も考えております。その辺については我々もですね、研究会とか勉強会とかを進めていきながらできるところから実施させていきたいと思います。

○議長 玉城 勇君 12番 赤嶺奈津江議員。

○12番 赤嶺奈津江さん 是非、各学校とか地域、区長会もありますし、PTAの集まりとかそういったところに地域として関わって見ることができないかとか、そういった提案の仕方もあると思うので、見ますと、保護者、教員、地域部門とかそういった形での委員会分けみたいところをされているところもありましたし、いろんな関わりのやり方があると思いますので、是非ですね、南風原らしいというところでは、学校によっては南風原もありますし、その中で区長さんにこのPTAの会議の中に入ってもらおうとかいろんな関わり方はあると思いますので、是非ですね、もうずっと勉強会だけが続くのではなくて、少しちょっと違うチャレンジをしてみるとかということも大事だと思いますので、そこは要望したいと思います。次に移りたいと思います。

職員体制の強化が必要だと思うかどうかということで質問させていただきましたけれども、こちらに持ってきたのが、南風原町公共施設等総合管理計画が、こちらも概要版ですけども、こちらのほうでは平成29年3月に制定されています。その中で北丘小学校の体育館がもう34年たっているので改築を想定されるというような内容ですので、あれから5年たっていますので、もう39年、40年になるということで今回建替えますね、体育館のほうがなりますけれども、その次には南星中であつたりとかということで順番が結構書かれていました。こういう形で老朽化が懸念されるとか、一番の懸念が給食センター、今後も検討、計画するということで予算化されていますけれども。この平成29年の時点で老朽化が69%ということで書かれていましたし、ハード的なところでもこれだけ今後事業が続い

ていくわけですね。また、今現在コロナの問題もあって職員体制だったり、実質授業ができないものもあつたり、学校とのやり取り、保護者とのやり取り、様々なやり取りが。これまでの通常の状態であればこなせていた部分もなかなか難しくなってくる場面も増えてくるんじゃないかなということでの質問であります。その中ではそのときに必要な人材、人員体制を確保するということがありますけれども、これから確実にこういったハード部門の整備がやってくる場合には計画から入って、工事まで続いていくわけですし、そういったところである程度それを認識して確保していくべきではないかなと。専門的な建築関係の資格を持っているとか、コンサルが言われた報告のままで工事を進めるのではなくて、ちゃんと南風原としての考えを、しっかり伝える役割も必要だと思うんですけども、そういった方針を確認したいと思うんですが、こちらのほうは教育長からの答弁がよろしいかと思うんですが、いかがでしょうか。

○議長 玉城 勇君 教育長。

○教育長 新垣吉紀君 我々事務局への応援のご質問と受け取っております。確かにコロナ禍とかでも、通常の業務以外にも、先ほど来、答弁があるように非常に煩雑な業務になっているのは確かでございます。ハードの整備については、急に一遍に大型事業が幾つも単年度に重なるというのは実質的にはやっぱり厳しい状態がございます。長期のスパンで適正に整備をしていくということがございますので、それなりに事業が大きいもの、それから重なった場合には人事担当部局とも調整しつつ適正な人員確保に努めていきたいというふうに考えております。

○議長 玉城 勇君 12番 赤嶺奈津江議員。

○12番 赤嶺奈津江さん ありがとうございます。是非ですね、そのときにもう少し人を充ててればというようなことがないように、執行部側にも要望したいと思いますし、町長、実質教育部局経験者でもありますし、教育長を経験された立場からでも、それだけ人員確保が必要になってくるとは思います、町長の答弁もいただきたいんですが、いかがでしょうか。

○議長 玉城 勇君 町長。

○町長 赤嶺正之君 ただいまのご質問にお答えをいたします。先ほど教育長から答弁があつたとおりでございますけれども、基本的にやっぱり議員ご指摘のとおり、このハードの事業が重なった場合はこれはやむを得ない、今、コロナ対策の場合もちゃんとプロジェクトチームを編成して対応しているわけですけども、もし学校施設関係もそういったふうなことになればそ

うというような対応もしないといけないだろうなと思っていますけれども、計画的に進めていきますので、例えば学校、ほかの学校でもこういったハードが重なっているのに、また給食センターも造らないといかんとかですね、そういったものを計画的に実施しますので、それが重ならないような工夫も、考えたいと思います。以上です。

○議長 玉城 勇君 12番 赤嶺奈津江議員。

○12番 赤嶺奈津江さん ありがとうございます。実質重ならないようにということですが、今日、給食の部分と北丘小学校の体育館はある程度重なる部分が出てきていますし、工事ではないにしても計画からはやはり関わる人は関わっていかないとしっかりしたものはできないというふうに思っておりますので、是非そういったところでは強化するべきところは強化してやっていただきたいと要望して終わりたいと思います。次に移ります。

2番目の生活習慣病予防の取組についてということですが、実際これまでつなげてきた子どもたち、フォローアップをしておりますということですが、実際、年次的に大体な何%……、そんなにいないと思うんですが、何%ぐらいの子どもたちが病院受診につながられているのか確認したいと思います。

○議長 玉城 勇君 国保年金課長。

○国保年金課長 高良星一郎君 赤嶺奈津江議員のご質問にお答えします。平成28年から始まりましてこの事業でございますが、平成30年度からは紹介状を発行して病院受診につなげております。記録に残っていません、令和元年からになります、令和元年、2年、3年、この3か年間で30人のお子さんを医療受診につなげている数字がございます。以上です。

○議長 玉城 勇君 12番 赤嶺奈津江議員。

○12番 赤嶺奈津江さん この中から受診をして——病院に紹介しますよね、ちゃんと受診したかどうかの確認まで取れますか。

○議長 玉城 勇君 国保年金課長。

○国保年金課長 高良星一郎君 お答えします。先ほどお答えしました30人は病院を受診して、その後の結果が役場にですね、その結果が返ってきたという件数になります。以上です。

○議長 玉城 勇君 12番 赤嶺奈津江議員。

○12番 赤嶺奈津江さん ありがとうございます。この30人の子どもたちは生活習慣病に至らなかったか、じゃなければ治療に入ったか、それぞれだと思いますけれども、実際この事業の大事さというのは将来的な医療費の抑制もあると思いますが、なかなか分かりづ

らい病気、実際私の周りも、前にも話しましたが、高校生になって初めて糖尿病が分かってということですね、遺伝的なとかそういったところでの糖尿病が分かってスポーツを諦めたという子もいました。そういったところからですね、やはりこういった受診があれば、発病せずにとか、ひどくならずにとか、早い対応で普通の生活が送れるとかそういったところにつなげるのが一番大事だというふうに思っています。こういった受診履歴を重ねていって、病院に通院するのが当たり前とか、健康診断を受けるのが当たり前というふうに持っていけば、南風原町の健康診断受診率もアップするのかなというふうに思いますけれども、実際この子どもたちの後追いですね、その後どうなっているのかというデータの蓄積とかどういうふうになっているかを確認したいと思います。

○議長 玉城 勇君 国保年金課長。

○国保年金課長 高良星一郎君 お答えします。紹介状を発行する際に、健診結果等を基に保護者、お子さんを栄養指導、保健指導等を行って、その結果と紹介状をお渡しします。ですから、病院を受診する前に町の保健師、栄養士と関係を築いて病院に行かれますので、その後の結果、もし必要等があればまた保健師、栄養士が関わっていった対応していくという流れになっています。以上です。

○議長 玉城 勇君 12番 赤嶺奈津江議員。

○12番 赤嶺奈津江さん ありがとうございます。実際、中学校卒業して働く子、高校進学する子、高校卒業して働く子、いろんなパターンがあると思いますけれども、その中でなかなか健康診断を受ける機会がない方もいますし、そういった中では進んで受診できるような環境づくりというのが大事だと思います。その中で、一番ですね、18歳、19歳、高校卒業した後、大学に行ったりとか、そういうのであれば健康診断書が必要だったり、学校であったりもありますけれども、そういった方たちへですね、アルバイトで生活している子もいますので、そういったところではなかなか健康診断をする機会がないという形になってきますので、そういったところのフォローも、是非ですね、小学校からの健康診断が当たり前という環境を作っていければ、その間が埋まってくるのかなというふうに思うんですが、担当部局としての、見解を伺いたいと思います。

○議長 玉城 勇君 国保年金課長。

○国保年金課長 高良星一郎君 お答えします。奈津江議員おっしゃるように住民健診ができる間ですね、健診が難しい期間もございます。ただ、こうやって学

童期の健診を受診して、その結果についてご自身や家族で考えるという機会を通して、自身の体の健康状態を再認識していくという機会は大変重要だと思っていますので、今後ともこういった取組を通して、町民の健康づくりに取り組んでまいりたいと思います。

○議長 玉城 勇君 12番 赤嶺奈津江議員。

○12番 赤嶺奈津江さん ありがとうございます。この事業に関しては一括交付金がいつまであるのか、どういうふうになっていくのかが見えませんが、これは一般財源を使っても、是非続けていただきたい。そうすれば、健康寿命も延びますし、病気の不安を抱えずに健康に笑顔で過ごせるという環境づくりのために必要だと思いますので、是非これからも頑張っていたきたいとお願いしてこの質問を終わりたいと思います。

次に3番目、自治会の監視カメラ導入の助成事業についてということで、こちらのほう前回も提案でやりましたが、なかなか厳しいということで意見交換会も含め、引き続き検討してまいりますということですが、実際事務委託してですね、データはもう実際自治会、公民館のほうにあるものもありますよね。個人情報として入っているところもありますし、やはり自治会費を納めていただく際にはデータとしてお名前とかいろいろなデータがあるわけですから、そういったところを守る観点からでも是非そういったところでは監視カメラ等の導入に関しては一般財源からでもやっているところはあると聞いていますので、助成事業としてやっていくべきではないかなというふうに思いますがいかがでしょうか。

○議長 玉城 勇君 総務課長。

○総務課長 新垣圭一君 お答えいたします。今、検討の中で課題があるということで先ほど答弁いたしておりますが、セキュリティの対策、またデータの漏えい対策と、また金額の部分なんですけれども、その課題というのが委員おっしゃるようにそういったカメラの設置については必要性を感じているところなんですけれども、町の補助金として考えたときに、平成29年度に町が公園のほうに防犯カメラを設置しておりますが、そのときにこの補助の基準として必須要件というのがあって、その際にセキュリティ対策として撮影、録画されたデータを確認取得する際、データが暗号化等によって第三者が安易にアクセスできない対策が講じられている機器というのと、またこの機器に関しても優良防犯機器認定制度の認定機器製造メーカーを指定しているという要件等がございました。そういう調査の結果がございましたので、町が行う補助事業とし

てもそういった個人情報の保護や、また情報漏えいの観点からですね、やはり町補助としてはある一定の要件が必要ではないかということに至っております。また、議員おっしゃっていた先進で事業を実施している自治体のほうの、そちらの要綱等も確認したんですけれども、やはり撮影した画像等は適正な管理を行うとともに、外部への漏えい等を防止するための所要の対策を講ずることとあって、事業導入している自治体のほうも管理運用規定を設けて、補助をしているというところであります。また、参考までに補助の経費を確認したんですけれども、そういった条件付けをした場合ですね、暗いところでも見えるとか、そういった1つ当たりの機器を取り扱っているメーカーのほうから確認したら、やはりどうしてもこの条件をクリアするには1基当たり大体40万円から50万円かかるということもお聞きしております。ですから、今実施している自治体が2分の1補助とか4分の3を補助しているんですけれども、やはりその金額を見ても基本となる額が大体40万円から50万円程度という感じで設定されておりますので、そういったかなり高額なものになりますので、先ほど答弁したように区長会のほうでもそういった負担になるかと思っておりますので、そういう予算を活用してでも導入するのとかですね、そういう意見も今後踏まえて、また同意について検討させて、もう少し時間をいただきたいと思っておりますので、ご理解いただきたいと思っております。

○議長 玉城 勇君 12番 赤嶺奈津江議員。

○12番 赤嶺奈津江さん 実際、我が新川のほうでも何十万円という形での補正予算を組んででもやったほうがいいんじゃないかということであって、なかなか厳しい自治会運営の中では生み出す金額としては厳しいということもありました。実際ですね、南風原町も都市化をしてきて新しい住民の方々も増えて、なかなか自治会に入らないという中では、高齢化してきた際に自治会運営もままならないと、自治会費もなかなか増えないという状況の中にあっては、公民館運営、コミュニティセンターの運営も厳しくなってくるのかなという不安もある中で、その中で後々カメラを設置、単独でとなると余計に厳しくなってくるんじゃないかなというふうに思います。そういったところでは、できるところは少なくとも半分とかですね、1台でもやるのか。そういった希望するところ、運営できているうちにやるべきではないかなというふうに思います。実際、このカメラの助成の際には多分米軍関係の事件、事故があったときにそういった予算がつけましたけれども、なかなかこの角度だと厳しいから設置できな

散会（午前11時55分）

いとか、いろんな条件があって自治会が導入を諦めた経緯もありましたので、そういったところから言えば、あの時点でもうちょっと検討してよかったのかなと、町としてもですね、やってほしかったなというのがあります。これから、こういった委託事務が町単独で全部やらないといけなくなるかもしれないという状況を考える中では、やはり自治会を大事に、助けるところは助けるというような補助事業はしっかり持っていたきたいというふうに思いますけれども、再度答弁をお願いします。

○議長 玉城 勇君 総務課長。

○総務課長 新垣圭一君 お答えいたします。議員心配されている自治会加入率も下がってきているというところもあります。町といたしましても区長会の皆様の一番末端で頑張っていらっしゃいますし、町といたしましても毎月2回の区長会もございます。その中で加入促進に向けても今一緒に取り組んでいるところもありますので、そういう中からですね、またこの一つの課題をしっかり町としても対応していきたいと考えております。

○議長 玉城 勇君 12番 赤嶺奈津江議員。

○12番 赤嶺奈津江さん 各自治会、問題点いろいろあるかと思いますが、課題がある中でどういったふうに提案していくか、また区長さんも長年やっている方もいらっしゃる、新しく初めて関わる方もいらっしゃいますし、なかなか声を上げづらいというような環境もあるかもしれませんので、是非こちら側から、町側からアクションを起こして意見の聞き取り、課題解決、そういったところにつなげていってほしいと思います。今回はカメラの助成ということで要望しておりますけれども、実現化を要望して終わりたいと思います。ありがとうございます。もう1回答弁はしていただきたいんですけども、前向きに考えるのか、ただ検討するのかでは違いますからね、是非答弁していただきたいんですが。

○議長 玉城 勇君 総務課長。

○総務課長 新垣圭一君 お答えいたします。前向きに検討させていただきます。以上です。

○12番 赤嶺奈津江さん ありがとうございます。以上で終わります。

○議長 玉城 勇君 お疲れさまでした。

本日は、本当にスピーディーな進行をご協力ありがとうございました。

以上で本日の日程は、全部終了しました。本日は、これで散会します。お疲れさまでした。